

学 校 用 オ ル ガ ン

---

SE-2000

---

取 扱 説 明 書

**YAMAHA**

## ごあいさつ

このたびはヤマハ学校用オルガンSE-2000をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。SE-2000は、楽器づくりの経験豊かなヤマハが、最新の技術を駆使し指導用オルガンの一層の充実をめざして開発した画期的なオルガンです。ご使用にあたりましては、この取扱説明書をご一読のうえ、SE-2000の機能を充分にご活用いただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

## 主な特長

### 1. 美しくクリアな音色

音づくりにヤマハ独自のFM音源方式を採用。美しくクリアな音色を実現しました。

### 2. 豊富な音色

音色は鍵盤楽器から管楽器、弦楽器まで14種類。さまざまなアンサンブル活動にも大きな効果を発揮します。

### 3. 出力をパワーアップ

アンプ出力を20Wにパワーアップ。裏面開口部面積の拡大と相まって、背面取付けスピーカーから豊かな音が響きます。

### 4. 教室での使用を考慮した新設計

- 本体を強化し、堅牢性の高い設計となっています。
- 電源コードを強化し、取付位置を変更しました。また、コード掛けを設置するなど安全性への配慮も万全です。
- 楽器を移動する時に持つ取手の位置を下げ、子供たちが持ちやすい高さにしました。

### 5. MIDI対応

学校用オルガンとしては初めてのMIDI端子を装備。これからの時代に対応し、可能性が広がります。

## 仕様

音源	FM音源
鍵盤	61鍵 Cスケール(5オクターブ)
音色	14音色 {オルガン、パイプオルガン、ピアノ、ハーブシコード、グロックン、フルート、オーボエ、クラリネット、ブラス1、ブラス2、ホルン、ストリング、コントラバス1、コントラバス2}
効果	ビブラート、サステイン
コントロール	ピッチコントロール、電源スイッチ 音量レバー(5段階)、エクスプレッションペダル
外部入出力端子	ヘッドホン、AUX(IN,OUT)、MIDI(IN,OUT)
メインアンプ	20W(8Ω)
スピーカー	20cm(8Ω)背面取付け
定格電圧	AC 100V
周波数	50Hz/60Hz
消費電力	25W
寸法	間口 93.6cm、奥行 43.0cm、高さ 81.3cm
重量	35kg
仕上げ	えんじゅ柾目
標準装備品	椅子

# 安全上のご注意



ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や周りの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

## 記号表示について

この機器に表示されている記号や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	<b>注意</b> 感電のおそれあり キャビネットをあげるな		注意：感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。 この機器の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。 点検や修理は、必ずお買い上げの楽器店または取扱説明書 巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。
---	--------------------------------------	---	---

⚠記号は、危険、警告または注意を示します。上記の場合、⚠は機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。また、⚠は注意が必要なことを示しています。

⊘記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

●記号は、行為を強制したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

\*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。万一、雨が降ったたり、花瓶などの水をこぼした時は至急、お買い上げの楽器店または取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。



## 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

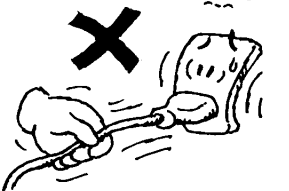


電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



タコ足配線をしない。

コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



電源コードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電、ショート、発火などの原因になります。

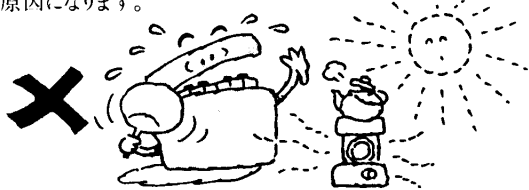


手入れまたは移動をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

プラグが変形するおそれがあります。

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。  
感電または機器の損傷のおそれがあります。

⊘ 直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、またほこりや振動の多い場所で使用しない。  
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。



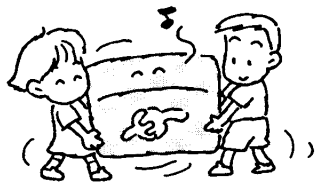
⊘ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。  
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



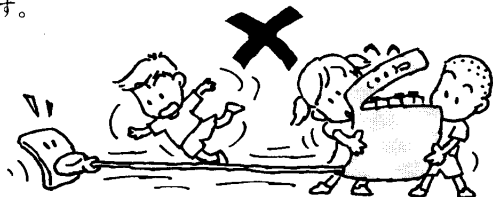
⊘ 本体を壁につけない  
換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、火災が発生するおそれがあります。

⊘ 不安定な場所に置かない。  
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、転倒や衝撃を与えないよう静かに運搬する。



❗ 本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。  
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。



⊘ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。  
本体が破損する原因になります。



❗ オルガン付属の専用椅子、または別にお求めのオルガン椅子は、オルガンの演奏用以外に使用しない。

- オルガンの椅子を遊び用具や踏み台にすると、椅子が転倒したり壊れたりして、事故につながるおそれがあります。
- 同時に二人以上で使用すると、姿勢や椅子に無理が生じ、事故につながるおそれがあります。オルガンの椅子は二人以上で使用しないでください。
- 椅子の脚はボルトで締め付けてあります。長い間使用していると、ゆるんでくる場合がありますので、ときどき締め直しをお使いください。



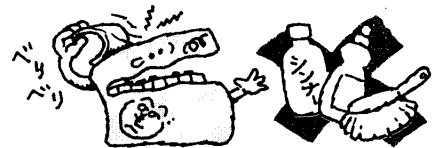
⊘ 大きな音で長時間ヘッドフォンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。



❗ ヘッドフォンを振り回さない。  
人に当たってけがをする恐れがあります。

⊘ 落書をしない。  
マジックやボールペンで落書をしますと消すことができません。いつまでも大切にきれいにお使いください。

⊘ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。  
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

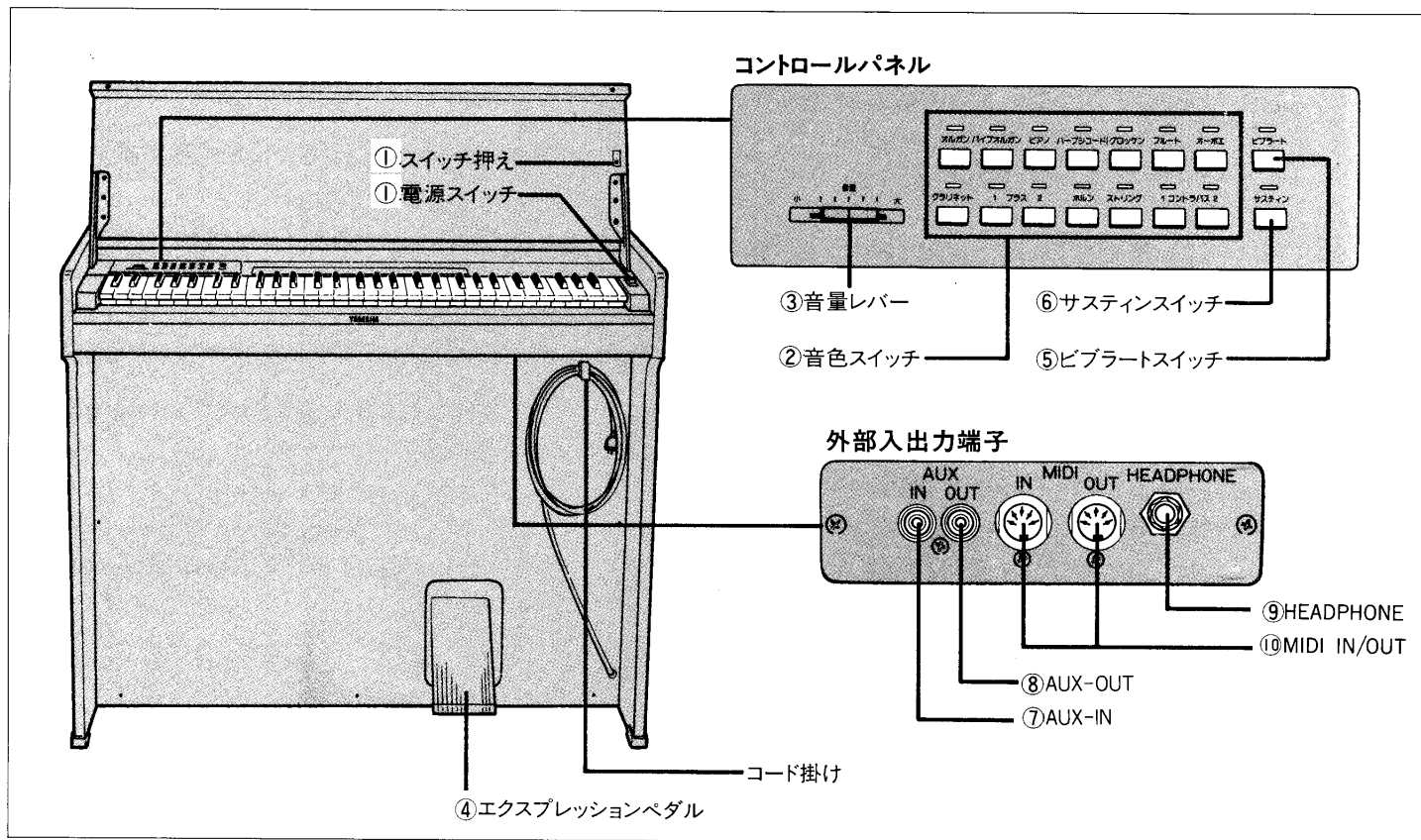


❗ 長時間使用しないときは、必ず電源を切る。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

※この製品は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

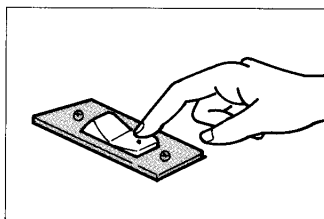
# 各部の名称



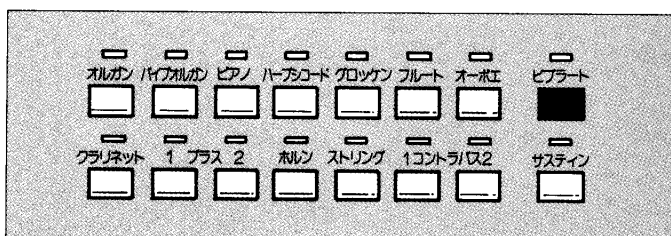
## 操作と機能

### ①電源スイッチ／スイッチ押え

電源スイッチを入れると、音色スイッチの“オルガン”のランプが点灯します。オルガンは、これで演奏可能な状態になります。スイッチ押えは、電源スイッチを切り忘れても、蓋を閉めた時に自動的にスイッチを切る仕組みになっています。



### ②音色スイッチ

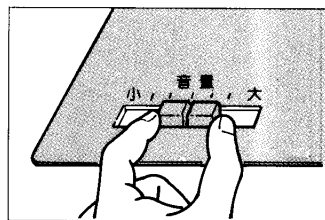


音色を選ぶスイッチです。スイッチを押すとスイッチの上にあるランプが点灯します。SE-2000は、鍵盤楽器を始め管楽器、弦楽器などの14種類の音色を持っています。なお、フルート、オーボエ、クラリネット、ブラス1、ブラス2、ホルン、ストリング、コントラバス1の音色を選ぶと、自動的にビブラートスイッチがONになります。ビブラートが不要の場合は、ビブラートスイッチを押してOFFにします。

※コントラバス1と2の音色は、音域が自動的に1オクターブ低くなります。

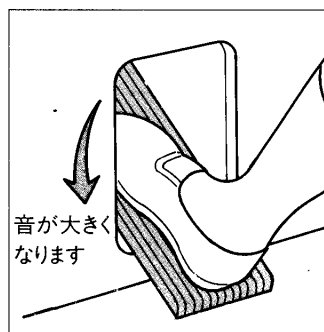
### ③音量レバー

音量をコントロールするレバーです。エクスプレッションペダルを一杯に踏み込んだ時の最大音量は、このレバーの位置で決まります。レバーを右へスライドさせるほど音は大きくなります。通常は中央の位置にセットしておきます。また、このレバーはクリックストップになっており、レバーを移動させると目盛りの位置で軽い手応えがありますので、その位置にセットして下さい。



### ④エクスプレッションペダル

音量をコントロールするペダルです。踏み込む深さによって音量をコントロールできますので、演奏中に音に強弱をつけることができます。また、ペダルは踏み込んだ位置で止まりますので、足を離すと一定の音量が保てます。



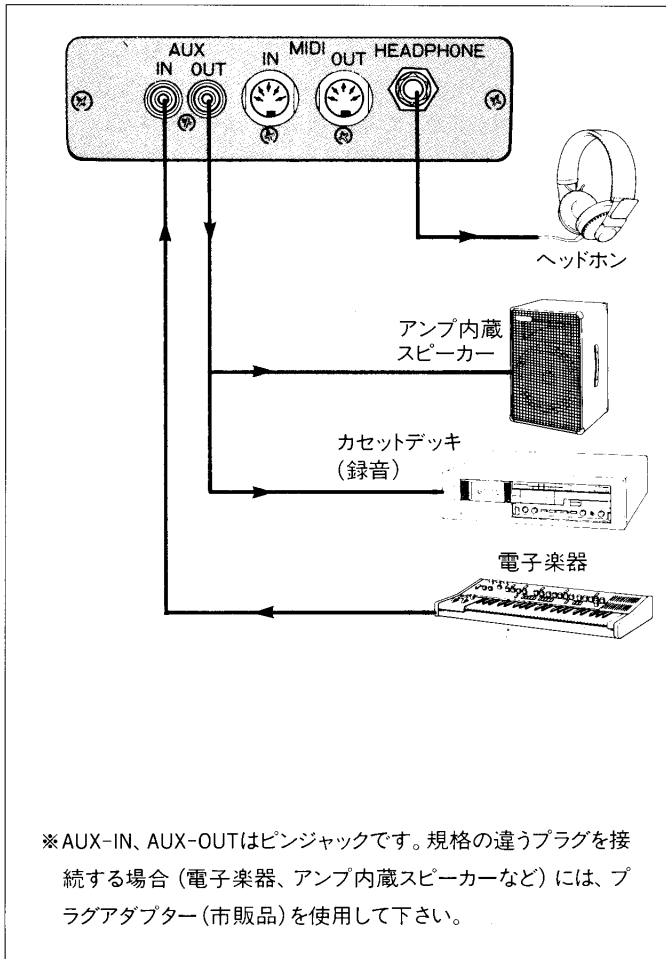
## ⑤ビブラートスイッチ

音の高さを小さきみに上下させ、音にうらおいを与える効果です。スイッチはON/OFFで、ONの時にはランプが点灯します。

## ⑥サスティンスイッチ

鍵盤から指を離れたあと、音に余韻を持たせる効果です。スイッチはON/OFFでONの時にはランプが点灯します。

## ●外部入出力端子



## ⑦AUX-IN (ライン入力端子)

他の電子楽器の音をオルガンのスピーカーから出したいときに使います。

## ⑧AUX-OUT (ライン出力端子)

カセットデッキに接続して、演奏を録音したり、アンプ内蔵スピーカーやステレオのアンプに接続して、より迫力のあるサウンドを楽しむことができます。

## ⑨HEADPHONE (ヘッドホン端子)

ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホン使用時には、オルガン本体のスピーカーからは音が出なくなります。

## ⑩MIDI-IN/OUT (ミディ端子)

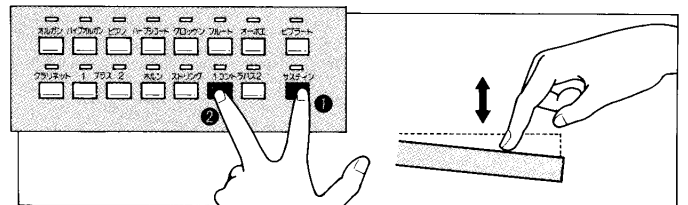
MIDI (Musical Instrument Digital Interface) は、デジタル電子楽器の世界統一規格です。MIDIケーブルを使って、MIDI対応のシンセサイザーやシーケンサーなどと接続すれば、多様な活用ができます。（使用方法などについては、“MIDIの活用”をご参照下さい。）

## ●ピッチコントロールについて

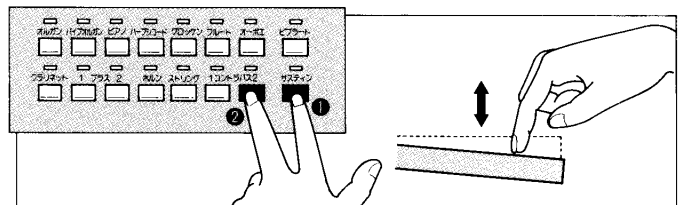
SE-2000には、従来のオルガンにあったようなピッチコントロールつまみはついていません。他の楽器と合奏する時など、音程を微調整したい時には次のようにします。（ピッチの可変範囲は上下ともにおよそ半音の半分位迄です。）

(1) 合わせたい音色（※持続音の方が合わせやすいです）を選んで、ビブラートをOFFの状態にします。

(2) ピッチを下げる時は、まず①サスティンスイッチを押し、次に②コントラバス1のスイッチを押します。この2つのスイッチを押さえたままの状態、合わせたい音程の鍵盤を繰り返し押すと、鍵盤を押す毎に少しずつピッチが下がります。



(3) ピッチを上げる時は、まず①サスティンスイッチを押し、次に②コントラバス2のスイッチを押します。この2つのスイッチを押さえたままの状態、合わせたい音程の鍵盤を繰り返し押すと、鍵盤を押す毎に少しずつピッチが上がります。



(4) ピッチを元の状態に戻すときは、サスティン・コントラバス1・コントラバス2のスイッチを同時に押します。

※電源を切るとピッチは元の状態に戻ります。

# 故障とお考えになる前に

## 1. スイッチを入れると約2秒後にカッチンと音がする。

オルガンが作動し、メインアンプ内部に電流が流れたために起こる音ですのでご心配はいりません。

## 2. 時々雑音が入る。(ガリツとかポツンという雑音)

電気器具の電源の入・切時、また、市街地のネオンサインの故障、電気ドリルなどがオルガンに影響することがあります。このようなときには原因と思われる機器からなるべく離れたコンセントを使って下さい。それでも直らない場合、原因不明の場合は最寄りのヤマハサービスセンターまでご相談下さい。

## 3. 音が割れる。(共鳴する、あるいはビリつく)

オルガンの音は持続音が多いため周囲の戸棚、窓ガラス、その他の器物に共鳴して音が割れて聞こえることがあります。このようなときには音量を小さくするか共鳴物を取り除くようにして下さい。それでも直らない場合、原因不明の場合は最寄りのヤマハサービスセンターまでご相談下さい。

## 4. テレビ、ラジオ、アマチュア無線等の電波が入る。

近くに大出力の放送局やアマチュア無線局があるとき、オルガンに影響する場合があります。どうしても気になる場合には、最寄りのヤマハサービスセンターまでご相談下さい。

## 5. 選んだ音色によって、鍵盤位置による音量のばらつきがある。

一般に電子楽器では、音色を変えるという本質的な要素をもつため、音色による各鍵盤の音量のばらつきをなくすことは非常に困難です。オルガンでは、どの音色でも演奏上問題のないように設計、調整されています。また、音量や音色は、オルガンの設置場所の状態や聞く位置などによって大きく異なることがあります。どうしても気になるときは、お買い求めいただいた楽器店あるいはサービスセンターまでご相談下さい。

**YAMAHA**  
ヤマハ株式会社



## ●ヤマハサービスネットワーク

全国のヤマハ特約楽器店と下記サービスセンターが責任をもってアフターサービスを行っております。

### ヤマハ電気音響製品サービス拠点（修理受付および修理品お持込み窓口）

北海道サービスセンター	〒 064-8543	札幌市中央区南 10 条西 1-1-50	ヤマハセンター内	Tel. 011-512-6108
仙台サービスセンター	〒 984-0015	仙台市若林区卸町 5-7	仙台卸商共同配送センター 3F	Tel. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒 211-0025	川崎市中原区木月 1184		Tel. 044-434-3100
東京サービスステーション※ (※お持ち込み修理のみのお取り扱い)	〒 108-8568	東京都港区高輪 2-17-11		Tel. 03-5488-6625
浜松サービスステーション	〒 435-0048	浜松市上西町 911	ヤマハ (株) 宮竹工場内	Tel. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒 454-0058	名古屋市中川区玉川町 2-1-2	ヤマハ (株) 名古屋流通センター 3F	Tel. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒 565-0803	吹田市新芦屋下 1-16	ヤマハ (株) 千里丘センター内	Tel. 06-877-5262
四国サービスステーション	〒 760-0029	高松市丸亀町 8-7	(株) ヤマハミュージック神戸 高松店内	Tel. 087-822-3045
広島サービスセンター	〒 731-0113	広島市安佐南区西原 6-14-14		Tel. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4		Tel. 092-472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒 435-0048	浜松市上西町 911	ヤマハ (株) 宮竹工場内	Tel. 053-465-1158

### 管教育楽器に関するお問い合わせ窓口

北海道支店	〒 064-8543	札幌市中央区南 10 条西 1-1-50	ヤマハセンター内	Tel. 011-512-6122
仙台支店	〒 980-0804	仙台市青葉区大町 2-2-10		Tel. 022-222-6146
東京支店	〒 108-8568	東京都港区高輪 2-17-11		Tel. 03-5488-1672
名古屋支店	〒 460-8588	名古屋市中区錦 1-18-28		Tel. 052-201-5166
大阪支店	〒 542-0081	大阪市中央区南船場 3-12-9	心斎橋プラザビル東館	Tel. 06-252-5341
大阪支店 広島駐在	〒 730-0031	広島市中区紙屋町 1-1-18	ヤマハビル	Tel. 082-244-3771
九州支店	〒 812-8508	福岡市博多区博多駅前 2-11-4		Tel. 092-472-2155
管教育楽器事業部 国内営業部 教育楽器営業課	〒 430-8650	浜松市中沢町 10-1		Tel. 053-460-2405

※記載されている事項は予告なく変更されることがあります。

改訂 981008

# 保証とサービスについて

## 1. 保証

当製品の保証は、保証書によりご購入日から満1カ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。また、保証は日本国内のみ有効といたします。

## 2. 保証書

当製品の納入調整サービスの際、技術者が保証書内へ必要事項記入のうえ、発行致しますので記載事項をご確認ください。

## 3. 保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社が当製品をご購入いただいたお客様にご購入の日から向う1カ年の無償サービスをお約束申し上げるものです。万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費をいただくことがございますので、必要に応じていつでもご提示いただけますよう保管してください。

また、後々のサービスに際しての機種判別やサービス依頼店の確認にご利用いただけますので、保証期間が過ぎましても大切に保管してください。

## 4. 納入点検調整サービス

当製品をお納めさせていただきますと、楽器店の技術者が楽器のご説明かたがた製品を最良の状態にするよう点検調整にお伺い致します。

お求めの製品について、ご不明の点およびお聞きになりたい事がありましたら、その節にお申しつけください。

## 5. 保証期間中のサービス

1. 保証期間中に万一故障が発生した場合には、お買い求めいただいた楽器店にご連絡ください。
2. 保証書は、今後貴重な資料とするため一時お預りさせていただきます。お預りした保証書は、弊社サービスセンターに送られ、必要事項を記録した後お客さまにご返送申し上げます。この間、約1週間～10日間程度を要しますが、ご心配なくお待ちくださいますようお願い申し上げます。

## 6. 保証期間後のサービス

満1カ年の保証期間が切れますとサービスは有料となりますが、引続き責任をもってサービスさせていただきます。補修用性能部品（製品本来の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は8年となっております。

## 7. サービスをご依頼になる前に

1. コンセントに電気が来ているかどうか、他の電気製品を接続してお確かめください。
2. ご依頼いただいたサービスにお伺いした際、故障でないような場合には、点検代と出張経費などの実費をいただきます。
3. 機種によりましては、サービス拠点への持込修理をお願いするものがあります。詳しくは保証書をご覧ください。

## 8. サービスのお約束について（出張修理の場合）

1. できるだけお伺いする日時を自前にお約束させていただきます。
2. 万一お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早くサービスをご依頼されたお店にご連絡ください。
3. サービスご依頼後、日時が経過してもなお技術者がお伺いしない場合はお手数でも裏面サービスセンターまでご連絡ください。責任をもって処理させていただきます。